

世界文学総合目録

豊富 膨大 詳細
信頼 便利

約10万点の
翻訳作品・原作を知る！
徹底した現物確認

翻訳大国・日本の底力
今後これを凌駕する目録は
望めない！

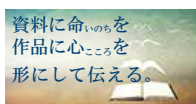
川戸道昭・榊原貴教編

第1巻	イギリス編①(あ~し)	
第2巻	イギリス編②(す~は)	
第3巻	イギリス編③(ひ~わ・補遺)	p.4
第4巻	アメリカ編	p.5
第5巻	フランス編①(あ~ふ)	
第6巻	フランス編②(へ~わ)	p.6
第7巻	ドイツ編	p.8
第8巻	ロシア編	p.9
第9巻	北欧・南欧諸国編	p.10
第10巻	東欧諸国・中国・インド アラビアン・ナイト編	p.12
	世界文学総合目録 作品名索引	p.14

収録論考	p.11
編者紹介	p.11

全10巻
+ 作品名索引・1巻

〈共同出版 2010-2013 刊〉
大空社 / ナダ出版センター



www.ozorasha.co.jp

学術資料出版

大空社出版

世界文学総合目録

川戸道昭・榊原貴教 編
全10巻＋作品名索引1巻

刊行のことば (抄)

(2010年12月)

翻訳文学の世界はこの百四十年余、文化のグローバル化とその歩みを共にしてきた。世界化した日本の文化環境をふりかえるには、その全容を把握する目録の作製が喫緊の時期にきている。そして、比較文化の視野がさらに高まるならば、現代の経済のグローバル化に対置する新しい文化の世界化の指針も提示できるに違いない。

編者は国立国会図書館の明治期翻訳書のマイクロフィルム化とその目録書の刊行を始めてから二十五年間、新聞雑誌の調査、および明治・大正・昭和の翻訳文献の古書蒐集を重ね、現物に当たりながら原典特定の作業をつづけてきた。ここにその成果として、『世界文学総合目録』全十巻を刊行する。

本書は、明治初年から昭和二十年までに初訳が行われた外国作家を網羅し、その作家の翻訳作品を作品別の目録として編纂する。収録した作家については、本書刊行時までに刊行されたすべての翻訳作品を収録する。百五十年の世界文学総合目録と謳うゆえんである。

『世界文学総合目録』が今後の翻訳研究・文化研究の基本資料として活用されることを願うものである。


基本構成

「作家別」

- ① 略伝・作家像変遷
- ② イメージ集
- ③ 翻訳文献目録

① 原典(代表的資料)に語らせる作家像の変遷

デフォー編



デフォー編

デフォー Daniel Defoe 一六六〇(一七二二) - 一七三〇 イギリスのジャーナリスト、小説家。『Robinson Crusoe』は開拓者意識の象徴的表現。『The History and Mystery of Daniel Defoe』は開拓者意識の象徴的表現。『The History and Mystery of Daniel Defoe』は開拓者意識の象徴的表現。

『Robinson Crusoe』の挿絵(1719年) 海外に自立的な開拓者意識を喚起し、ロンドン・パリに於ける開拓者意識の象徴的表現。『Robinson Crusoe』の挿絵(1719年) 海外に自立的な開拓者意識を喚起し、ロンドン・パリに於ける開拓者意識の象徴的表現。

164

デフォー編













166

② 貴重図版(挿絵・装幀など)で作家・作品を立体的に理解

- 第1巻 イギリス編①(あ～し)
 - 第2巻 イギリス編②(す～は)
 - 第3巻 イギリス編③(ひ～わ・補遺)
 - 第4巻 アメリカ編
 - 第5巻 フランス編①(あ～ふ)
 - 第6巻 フランス編②(へ～わ)
 - 第7巻 ドイツ編
 - 第8巻 ロシア編
 - 第9巻 北欧・南欧諸国編
 - 第10巻 東欧諸国・中国・インドアラビアン・ナイト編
- 世界文学総合目録 作品名索引

* 国・地域別編成
* 作家・原作者の五十音順配列
* 解説・論考を収録(↓11ページ参照)

特色

- ① 図書のみならず新聞・雑誌に掲載されたものまで過去最大約10万点の翻訳作品データを収録。(原則として小説・戯曲作家を収録し、昭和20年以前に初訳のない作家、および詩人は省く)
- ② 原典を可能な限り特定し、発行〈月〉まで明らかにした充実した書誌情報。
- ③ 無視されがちな児童書・文庫までカバーし、多数の新発見資料を収録。
- ④ 作家像と挿絵・装幀で、歴史・図像から立体的に翻訳を読み解ける文学事典。
- ⑤ 日本における翻訳文学研究の最新論考を収録。

原寸

発表〈月〉まで記載。徹底した現物確認の成果。

デフォー編

デフォー翻訳作品年表

■企画論 An Essay upon Projects (1698)

平成6年3月 *十七世紀末の英国事情 (デフォーの社会改善計画)

岩崎泰男訳 京都・同志社大学出版部

■ヴィール夫人の亡霊 The Apparition of Mrs. Veals (1706)

昭和45年3月 *ヴィール夫人の亡霊 (岡本綺堂読物選集8 翻訳編

下) 岡本綺堂訳 青蛙房

昭和49年2月 *ミセス・ヴィールの幽霊 (『こわい話・気味のわるい

話1』) 平井呈一訳 牧神社出版

昭和60年5月 *ミセス・ヴィールの幽霊 (恐怖の愉しみ上) 平井呈

一訳 東京創元社 創元推理文庫

昭和62年8月 *ヴィール夫人の亡霊 (世界怪談名作集上) 岡本綺堂

訳 河出書房新社 河出文庫

平成8年7月 *ヴィールの亡霊 (『鏡に浮かぶ影』) 千葉幹夫文 講

談社 青い鳥文庫

■ロビンソン・クルーソーの生涯と冒険 The Life and Strange

Surprising Adventures of Robinson Crusoe (1719)

一八四八年 *漂流紀事 黒田行元訳

一八五七年 *魯敏遜漂流紀略 横山由清訳

明治5年春 *英国魯敏孫全傳 斎藤了庵訳・高田義甫校 鉄線書屋

蔵版・香芸堂

明治10年11月 *回世美談 (一〜四) 山田正隆訳 山田正隆 (〜11年

3月)

明治12年4月 *九死一生魯敏孫物語 横須賀・橘園迂史訳 驥尾団子

(〜10月)

明治16年10月 *英国魯敏孫寫物語 (一名・英国漂流記事) 上編 斎藤

了庵訳・高田義甫校 川越屋松次郎 『魯敏孫全傳』

改題

明治16年12月序 *魯敏孫漂流記 (絶世奇談) 井上勤訳・坂部訓正校訂

博聞社

明治20年3月 *魯敏孫漂流記 (新訳) 牛山鶴堂 (良助) 訳・跡部正

道校補 春陽堂

明治20年11月 *大人国旅行 (南洋漂流) 大久保常吉訳・服部誠一校

閲 新古堂

明治21年2月 *小人国発見録 (政治小説) 鳥尾岩太郎訳 松下軍治

明治25年9月 ロビンソン、クルソー 訳者不記 小国民 (〜10月)

明治27年3月 *ロビンソンクルーソー絶島漂流記 高橋雄峯訳 博

文館 (〜4月) 世界文庫第11・13編

③・作品 (原題付き) を年代順に配列。

・翻訳作品を編年配列。初訳、翻訳の影響関係が見える。

(*||単行書)

『ロビンソン・クルーソーの生涯と冒険』だけで11ページに及ぶ。

4 アメリカ編

収録作家・原作者名

- アーヴィング W. アンダソン S. ウィギン K.D.S. ウェブスター J. オー・ヘンリー
- オニール E.G. オルコット L.M. キャザー W. クーリッジ S. ゴールド M. コールドウエル E. サロウヤン W. ジェイムズ H. シンクレア U.B. スタインベック J. ストウ夫人 H.E.B. ソロー H.D. デル F. ドライサー T. ノリス F. バーネット F.E.H. バック P.S. フィッツジェラルド F.S.K. フォークナー W. ブロムフィールド L. ヘミングウェイ E. ポー E.A. ホーソン N. マーク・トウェイン
- リード J. ルイス S. ロンドン J.

□大鴉 The Raven (1845) 「大鴉」の翻訳史については、佐渡谷重

信著「論説・日本における「大鴉」の受容と反響、資料・Edgar A. Poe「大鴉」の日本語訳集」(西南学院大学英語文学論集)平成十三年八月)に詳説されている。編者は同書の寄贈を受けながら、いまだ詩集については十分確認できないでいる。

明治21年6月 *大鴉(「ニューナショナル第五読本直訳」) 渡辺松茂訳 大阪・積善館

明治24年5月 *大鴉(「ニューナショナル第五読本直訳(意解挿入)下(二)」) 元木貞雄訳 文盛堂

明治26年1月 *怪鴉(「英文学講義録第四巻」) 磯辺弥一郎訳 国民英学会出版局

明治42年4月 *大鴉(「訳註近世英文学」) 岩野泡鳴訳 有朋堂書店

昭和8年11月 *大鴉 佐藤一英訳 椎の木社

昭和10年3月 *大鴉 日夏耿之介訳 野田書房

昭和11年3月 *大鴉 日夏耿之介訳 エドアル・マネ絵 訪書書局

昭和21年12月 *大鴉その他(「あひびき」) 葉河憲吉訳 出水書園

昭和23年2月 *からす(「移植林(詩集)」) 斎藤博訳 読書展望社

昭和44年10月 *鴉その他の詩(「ポー・ホイットマン」) 島田謹二訳 平凡社 世界名詩集21

昭和47年12月 *大鴉 日夏耿之介訳 ギュスターヴ・

字社

平成17年9月 *大鴉 日夏耿之介訳 沖積舎

平成17年9月 *大鴉 日夏耿之介訳 ギュスターヴ・ドレ 沖積舎

平成21年6月 *大鴉(「ポー訳詩集」) 加島祥造訳 鎌倉・港の人 加島祥造セレクション3

□マルジナリア Marginalia (1844)

昭和10年11月 *覚書(マルジナリア) 吉田健一訳 芝書店

昭和17年2月 マルジナリア 吉田健一訳 批評(十10月〜18年1月)

昭和23年3月 *マルジナリア 吉田健一訳 創元社 創元選書135

昭和34年7月 *「マルジナリア」より(「ボオ、ボオドレール」) 吉田健一訳 筑摩書房 世界文学大系33

□ユリイカ Eureka (1843)

昭和10年10月 *ユリイカ 牧野信一・小川和夫訳 芝書店

昭和19年5月 *ユリイカ(「エドガア・ボオ小説全集別巻・宇宙論、詩論」) 谷崎精三訳 春陽堂書店(ユリイカ、詩

の原理、詩作の哲理、Bへの手紙、言葉の力、家具の哲理、メルゼルの象棋差し、どうして小さなフランス人は腕を吊帯に掛けてゐるか)

ポー編



「Edgar Allan Poe (1809-1842)」は、1840年、アメリカの作家、詩人、批評家、ジャーナリストとして活躍した。彼の作品は、短編小説、詩、エッセイなど多岐にわたる。特に「大鴉」や「マルジナリア」などの作品が有名である。彼の作品は、後のゴシック小説や探偵小説の発展に大きな影響を与えた。

【明治期のポー】
* 全国で文壇に「ポー」のブームが巻き起こる。『大鴉』、『マルジナリア』、『ユリイカ』などの作品が、読者の心を捉え、大いに人気を博した。このブームは、日本の文壇に新しい風を吹き込み、作家たちに大きな刺激を与えた。

469

半井編



モーパッサン編



モーパッサン Jules Verne

モーパッサン (1850.11.26 - 1892.7.8) フランスの小説家。『ルパン』に生れる。父は貴族の血を引いているが、領地を持たない名ばかりの貴族であったため、生活は困窮していた。プロイン・フランス戦争後、パリに出て海軍省文藝者の下僚員となる。一八八〇年、ソラとその弟たちが書いた短編集『メロマンの夕べ』に、動物の魂を載せて作家としての活動を受ける。

★『明治期のモーパッサン』
★『文壇の年間に動物魂として知られる』

たまたまその縁起として、別れ北人になるまでの苦悩の一方ならぬ幾多の苦悩を重ね、變化に變化を積み、歩みを進め、面白く、一語一語を佳境に進み、一回は一回より妙域に入り、観望をして海に河の熱受を催し、むべし、若し夫れ蘭子が言語の妙なるに至りては、蘭語に日本語の人名を置き、今更事なく吹送するを敢てす。(『源平物語』)

モーパッサン編

モーパッサン翻訳作品年表

■剥製の手 La main décorché (1875)

明治44年5月 死人の手 山本迷羊訳 帝国文学

昭和23年10月 *手首の怪(『悪魔伯夫人』) 勝見勝訳 共立書房

昭和25年4月 *剥製の手(『脂肪の塊』) 岡田真吉訳 白水社

昭和30年6月 *剥いだ手(『モーパッサン全集』1) 岡田真吉訳 春陽堂書店

昭和40年9月 *剥製の手(『モーパッサン全集』2) 青柳瑞穂訳 春陽堂書店

昭和59年1月 *夜歩く手(『世界こわい話ふしぎな話傑作集』7) 榊原晃三訳 金の星社

■ココ、ココ、冷たいココはいかが! Coco, Coco, coco, fraisi (1876)

昭和30年6月 *ココ、冷たいココはいかが(『モーパッサン全集』1) 村上菊一郎訳 春陽堂書店

昭和40年9月 *ココ、ココ、冷たいココはいかが! (『モーパッサン全集』2) 村上菊一郎訳 春陽堂書店

■聖水授与者 Le donneur d'eau bénite (1876)

大正3年10月 *聖水守(『森の中』) 小形青村訳 文影堂(発売禁止)

昭和31年3月 *聖水授与者(『モーパッサン短篇集』5) 河盛好蔵

昭和30年6月 *聖水授与者(『モーパッサン全集』1) 新庄嘉章訳 春陽堂書店

昭和28年11月 *聖水を汲む男(『モーパッサン短篇集』) 大崎正二訳 創人社 世界名作選集

昭和26年6月 *聖水授与者(『モーパッサン短篇集』) 新庄嘉章訳 小峰書店 少年少女のための世界文学選15

昭和25年10月 *聖水授与者(『モーパッサン文庫』1) 河盛好蔵訳 小山書店

昭和23年9月 *親ごころ(『モオパッサン短篇集』) 秋田滋訳 日本世界文学社 世界文学叢書23

昭和22年12月 *聖水授与者(『メゾン・テリエ』) 河盛好蔵訳 京都・世界文学社

昭和16年5月 *聖水授与者(『モーパッサン選集』1) 河盛好蔵訳 河出書房

昭和15年10月 *聖水授与(『メゾン・テリエ』) 河盛好蔵訳 岩波書店

モーパッサン挿絵集

モーパッサンの挿絵(丸山熊雄訳『モーパッサン選集』太田文庫)より紹介する。本書の挿絵は藤岡純治が描いている。



第2巻の巻頭挿絵(彩色画)



第4巻「傾斜し」挿絵



第1巻「赤ら顔」挿絵



第2巻「女荷」挿絵

「モーパッサン」だけで約130ページに及ぶ。

収録作家・原作者名

- アンドレーエフ L.N.
- オストロフスキイ (A・N)
- オストロフスキイ (N・A)
- ガルシン V.M.
- クプリーン A.I.
- ゴーゴリ N.V.
- コロレンコ V.G.
- ゴンチャロフ I.A.
- シヨロホフ M.A.
- チェーホフ A.P.
- ツルゲーネフ I.S.
- ドストエフスキイ F.M.
- トルストイ (A・K)
- トルストイ (A・N)
- トルストイ L.N.
- プーシキン A.S.
- プーニン I.A.
- レールモントフ M.Y.

ドストエフスキイ編



ドストエフスキイ編

ドストエフスキイ編

ドストエフスキイの著作は、その精神の探求と、社会の批判を、鋭く、そして、情熱的に描き出した。その代表作『罪と罰』、『カラマゾフの兄弟』、『地下室の手記』などは、世界文学史上の傑作として知られている。本書は、その代表作を中心に、その創作の経緯や、その思想の発展を、詳しく解説している。また、その作品の翻訳についても、その特徴や、その魅力について、詳しく解説している。



ゴゴリ編

ゴゴリは、ロシア文学史上の傑出した作家であり、その代表作『鼻』、『死んだ人の魂』、『コリキー』などは、世界文学史上の傑作として知られている。本書は、その代表作を中心に、その創作の経緯や、その思想の発展を、詳しく解説している。また、その作品の翻訳についても、その特徴や、その魅力について、詳しく解説している。

ドストエフスキイ編

- 昭和33年8月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集(決定版)19) 米川正夫訳 河出書房新社
- 昭和44年11月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集11) 米川正夫訳 河出書房新社
- 昭和55年8月 *「未成年」創作ノート(決定版ドストエフスキイ全集27) 工藤精一郎・安藤啓訳 新潮社
- 平成3年6月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集19A) 小沼文彦訳 筑摩書房
- 昭和3年8月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集(決定版)19) 米川正夫訳 河出書房新社
- 昭和44年11月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集11) 米川正夫訳 河出書房新社
- 昭和55年8月 *「未成年」創作ノート(決定版ドストエフスキイ全集27) 工藤精一郎・安藤啓訳 新潮社
- 平成3年6月 *「未成年」創作ノート(ドストエフスキイ全集19A) 小沼文彦訳 筑摩書房
- 大正2年5月 カラマゾフの兄弟(梗概) 播磨橋吉訳 早稲田文学
- 大正2年11月 翻訳(カラマゾフの兄弟) 川合胡冬・佐藤豊義訳 文芸雑誌(付、森田草平「翻訳後の所感」)
- 大正3年10月 *カラマゾフの兄弟(1・2) 三浦閑造訳 金尾文淵堂
- 大正3年10月 *カラマゾフの兄弟 米川正夫訳 新潮社
- 大正3年10月 *カラマゾフの兄弟 米川正夫訳 世界大著物語叢書5
- 大正4年4月 *カラマゾフの兄弟 森田草平訳 日新社
- 大正4年10月 *カラマゾフの兄弟 広津和郎訳 天竺堂
- 大正11年8月 *カラマゾフの兄弟(脚色) 伊藤松雄訳 新潮社
- 大正12年5月 *カラマゾフの兄弟 北川劉吉訳 上房出版部
- 大正13年2月 *カラマゾフの兄弟(復興版) 森田草平訳 三星出版部
- 大正14年10月 *改訳カラマゾフの兄弟1 米川正夫訳 新潮社
- 大正15年2月 *改訳カラマゾフの兄弟2 米川正夫訳 新潮社
- 大正15年3月 *カラマゾフ家の兄弟(上)(ドストエフスキイ全集11) 広津和郎訳 ドストエフスキイ全集

ゴゴリ編

- 大正7年10月 梶馬車 Kawakami (1836) 小説 新日本
- 大正11年1月 *梶馬車(露西亞二十一人集) 菊池仁康訳 善文社
- 昭和9年7月 *馬車(ゴゴリ全集4) 横田瑞穂訳 ナウカ社
- 昭和11年9月 *馬車 平井肇訳 山本書店
- 昭和12年2月 *馬車(肖像画・馬車) 平井肇訳 岩波書店
- 昭和15年5月 *馬車(ゴゴリ全集4) 横田瑞穂訳 ゴゴリ全集刊行会
- 昭和23年5月 *馬車で失敗した話(鼻が逃げた話) 鈴木隆訳 赤松俊子絵 国民図書刊行会
- 昭和25年6月 *馬車(世界文学全集第1期(19世紀篇)23・ゴゴリ集) 平井肇訳 河出書房
- 昭和28年3月 *梶馬車(ロシア短篇集) 横田瑞穂訳 河出書房
- 昭和29年12月 *梶馬車(ゴゴリ全集2) 横田瑞穂訳 河出書房
- 昭和51年9月 *梶馬車(ゴゴリ全集3) 横田瑞穂訳 河出書房
- 平成8年3月 *馬車(ゴゴリ全集4) 横田瑞穂訳 日本図書センター(ナウカ社(昭和9年刊)の複製)
- 平成23年8月 *梶馬車(「逃」) 横田瑞穂訳 ポプラ社
- 大正13年4月 鼻 相良正康訳 露西亞三人集(チェーホフ、ゴリキー、ゴゴリ) 原久一郎訳 新潮社
- 昭和3年1月 *鼻(世界文学全集24・露西亞三人集) 原久一郎訳 新潮社
- 昭和8年6月 *鼻(外装、他二篇) 伊吹山次郎訳 岩波書店
- 昭和9年7月 *鼻(ゴゴリ全集4) 八住利雄訳 ナウカ社
- 昭和13年1月 *鼻(外装・鼻) 平井肇訳 岩波書店
- 昭和14年4月 *鼻(隊長フリーバ) 原久一郎訳 新潮社
- 昭和15年5月 *鼻(ゴゴリ全集4) 八住利雄訳 ゴゴリ全集刊行会
- 昭和22年1月 *鼻(外装、他二篇(ゴゴリ短篇集)) 大塚博人訳 高山書院
- 昭和22年6月 *鼻(ゴゴリ全集3) 原久一郎訳 霞ヶ関書房
- 昭和23年5月 *鼻が逃げた話(鼻が逃げた話) 鈴木隆訳 赤松俊子絵 国民図書刊行会
- 昭和25年2月 *鼻(狂人日記、外三篇) 横田瑞穂訳 日本評論社
- 昭和25年6月 *鼻(世界文学全集第1期(19世紀篇)23・ゴゴリ集) 平井肇訳 河出書房
- 昭和29年12月 *鼻(ゴゴリ全集2) 横田瑞穂訳 河出書房

《収載論考》

〈第1巻収載〉

叢書でたどる明治・大正の翻訳文学（川戸道昭）

大正期外国文学叢書総覧（川戸道昭）

〈日本における翻訳文学研究〉

〈第6巻収載〉

言文一致と明治の翻訳文学 「である」文の成立に果たした翻訳文学の役割（川戸道昭）

〈第8巻収載〉

ブロンテ姉妹のハワースとイプセンのシーエン 翻訳作品の舞台を歩く（平岡敏夫）

トルストイ遙か トルストイ文献DB作成に参加して（成田鈴己）

明治期地方紙における翻訳小説 書誌的リソース管見（藤元直樹）

〈第10巻収載〉

近代日本のプーシキン受容素描（小林実）

森鷗外とイプセン劇 『ジョン・ガブリエル・ボルクマン』『人形の家』

受容（金子幸代）

日本人名探偵登場前夜 明治期におけるホームズの受容について

（山本いずみ）

本間久雄とワイルド作『獄中記』の翻訳（平田耀子）

英版『アラジン』画像に見るオリエントイメージの混在と融合

日本表象を中心として（千森幹子）

少年少女文学全集と教養形成 戦後の「翻訳」叢書が担う意味

（佐藤宗子）

【編者紹介】 *肩書は刊行時

川戸道昭（かわと・みちあき） 中央大学教授

榎原貴教（さかきばら・たかのり） ナダ出版センター主宰

「翻訳」を近現代日本の文学・社会総体に底流する文化と位置づけ膨大な資料・文献を調査・収集し、復刻編纂した多数の目録・全集・事典は、多くの読者・研究者に益している。

明治翻訳文学全集《新聞雑誌編》(50巻)、同《翻訳家編》(20巻)。図説絵本挿絵大事典(3巻)。図説 翻訳文学総合事典(5巻)。図説 児童文学翻訳大事典(4巻)。シェイクスピア翻訳文学書全集(45巻)。児童文学翻訳作品総覧(8巻)。ボードレール:明治・大正期翻訳作品集(1巻)。「翻訳詩」事典:フランス編(1巻)。資料集成 近代日本語〈形成と翻訳〉(18巻)ほか [1990年代～2016年刊。詳細は大空社出版ホームページ]

これらは〈すべて現物を確認する〉徹底した実証主義で貫かれており(本書『世界文学総合目録』全11巻も同様)、時を経ても不変の信頼性を有している。



世界文学総合目録 作品名索引

全1巻

全10巻に収載の約10万点の翻訳作品から邦訳作品名をすべて採録。(13,600余点の作品名)



誰が罪 (新散文詩)	ツルゲーネフ	⑧	338
誰が罪 Der Verbrecher aus verlorener Ehre	シラー	⑦	190
高飛競争 Springfyrene (1845)	アンデルセン	⑨	137
高とび選手 Springfyrene (1845) [高飛競争、跳ぶもの、跳びつこ、とびつゝのみとびとバッタととび人形] アンデルセン	⑨	137	
鷹の泉 At the Hawk's Well (1917) [鷹の井戸]	イエイツ	①	84
鷹の島脱獄囚 Соколинел (1885) [樺太脱獄記、サガレン脱走記]	コロレンコ	⑧	99
宝島 Treasure Island (1883) [黄金島]	ステイーヴンソン	②	58
宝妻 Hvad Fatter gjør, det er altid det Rigtige (1861) アンデルセン	⑨	206	
宝ほり The Gold-Bug (1843)	ポー	④	436
宝を探して 'Teen': a Treasure-Hunter [宝探し犬ティーム]	キプリング	①	251
ダガソンの村長選挙 La eleccion de los alcaldes de Daganço	セルバンテス	⑨	454
多感の凱歌 Triumph der Empfindsamkeit (1777)	ゲーテ	⑦	98
たきぎ La buche (1882) [のりり火、独身主義、薪]	モーパッサン	⑥	140
焚き火 To Build a Fire (1908) [火を焚きつける、火を熾す]	ロンドン	④	581
妥協 The Compromise of the King of the Golden Isles	ダンセイニ	②	88
たくみと恋 Kabale und Liebe (1784)	シラー	⑦	183
たくらみ Une rouerie (1882)	モーパッサン	⑥	161
たくらみと恋 Kabale und Liebe (1784) [たくみと恋]	シラー	⑦	183
凧 The Kite	モーム	③	147
凧 [風箏 (1925)]	魯迅	⑩	164
タゴールの神秘劇 Dakghar (1914)	タゴール	⑩	250
多産 Prolificacy	ストリンドベリ	⑨	276
舵手 Der Steuermann (1920)	カフカ	⑦	56
駄獣 A Beast of Burden	ゴールズワージー	①	309
多数者の一人 Один из многих (1887)	チェーホフ	⑧	206
助かったわ Sauvee (1885) [解放、別れ話、命拾ひ]	モーパッサン	⑥	227
助けて!	チャペック	⑩	29
助けよ	レフ・トルストイ	⑧	591
タズレイの災難 Trouble Down at Tudsleigh (1935) ウッドハウス	①	153	
黄昏 Sister Carrie (1900)	ドライサー	④	255
黄昏れゆく青春 Angelika (1855)	シュトルム	⑦	155
ダダ	ジッド	⑤	124
タタール人の反乱 Revolt of the Tartars (1837)	ド・クインシー	②	193
ただ一度のエマーの嫉妬 The Only Jealousy of Emer (1919) [やかず罿]	イエイツ	①	84
戦いの前夜 Night Before Battle [戦闘前夜]	ヘミングウェイ	④	393
戦う操縦士 Pilote de guerre (1942)	サン＝テグジュペリ	⑤	76

こんなとき
使える！

- 作者名を思い出せないときに
- 原作のタイトル・刊年を確認したいときに
- 同一作品のさまざまな訳題を比較するとき
- 同名邦訳の異なる原作者を知りたいときに
- 既訳があるか確認するとき
- 翻訳したい作品の題を付けるヒントに
- 原作者の原著を一覧したいときに (総目次)

『世界文学総合目録』全十巻総目次

ジョイス James Joyce (1882-1941)	ジョイス挿絵集	443
〔略伝〕 日本におけるジョイス像		
〔作品〕 ダブリンの人々／姉妹／出会い／アラビヤ／イーヴリン／レースのあとで／二人の伊達男／下宿屋／小さな雲／対応／土くれ／痛ましい事件／委員室の独立記念日／母親／恩寵／死者たち／若い芸術家の肖像／ユリシーズ／フイネガンズ／ウエイク／亡命者／ジアカコモ・ジョイス／詩集〔室内楽、一片詩集〕／猫と悪魔／評論		446
シロー George Bernard Shaw (1856-1950)	シロー挿絵集	466
〔略伝〕 日本におけるシロー像		
〔作品〕 非社会的社会主義者／イブセン主義精髓／やもめの家／ウォレン夫人の職業／女たらし／武器と人／カンディダ／運命の人／わからんもんですよ／悪魔の弟子／シーザーとクレオパトラ／完全なるワグナー主義者／プラスバウンド船長の回心／人と超人／男は女の夫にどう嘘ついたか／バーバラ少佐／医師のジレンマ／結婚しかけて／ブランコ・ボスネットの暴露／新聞きりぬき／ソネットの黒婦人／フアンニの処女作／アンドロクレスとライオン／無用の者入るべからず／ピグマリオン／カザリン女皇／ヴィクトリア勲章のオーフラーティ／変装のカイゼル／これも国のため／過激派の女帝／傷心の家／メトセラ時代／帰れ／聖女ジャンヌ／資本主義・社会主義入門／デモクラシー万歳！／ジュニーヴァ／その他		476
シング John Millington Synge (1871-1909)	シング挿絵集	484
〔略伝〕 日本におけるシング像		
〔作品〕 海に行く騎者／谷の影／聖者の泉／アラン島／西の国の人気男／鍔掛屋の婚礼／悲しみのデアドラ／紀行		488
スウィフト Jonathan Swift (1667-1745)	スウィフト挿絵集	7
〔略伝〕 日本におけるスウィフト像		
〔作品〕 桶物語／ドレイヒア書簡／ガリヴァー旅行記／貧家の子女がその両親並びに祖国にとつての重荷となることを防止し、且社会に対して有用ならしめんとする方法についての私案／奴婢訓／その他		13
スコット Sir Walter Scott (1771-1832)	スコット挿絵集	26
〔略伝〕 日本におけるスコット像		
〔作品〕 マーミオン／湖上の美人／ミッドロージャンの心臓／春風情話／モン・トロズ綺譚／アイヴァンホー／ケルワースの城／お護符／魔鏡物語／パースの小町／寿其徳奇談／詩／その他		35
スターン Laurence Sterne (1713-1768)	スターン像	40
〔略伝〕 日本におけるスターン像		
〔作品〕 紳士トリストラム・シャンディの生涯と意見／センチメンタル・ジャーニー		41
スタンレー Sir Henry Mornon Stanley (1841-1904)	スタンレー像	42
〔略伝〕 日本におけるスタンレー像		
〔作品〕 リヴィングストーン発見記／暗黒大陸		43
ステイヴンソン Robert Louis Ballour Stevenson (1850-1894)	ステイヴンソン挿絵集	44
〔略伝〕 日本におけるステイヴンソン像		
〔作品〕 内地の船旅／旅は驢馬をつれて／ねじけジャネット／若い人々のために／吉田寅次郎／新アラビヤ夜話〔自殺倶楽部／王の金剛石／海辺の飯屋／夜の宿／マレットロア老人の家の門／ギターの使命／その他〕／宝島／死体盗人／子供の歌園／プリンス・オットー／マークハイム／ジキル博士とハイド氏／さらわれたデービッド／メリー・メン／水車小屋のウィル／黒い矢／バラントレイ家の世嗣／箱ちがい／ビンの中の小鬼／難破船／声たちの島／トッド・ラブレイクの話／海を渡る恋／寓話／虜囚の恋／宿なし女／その他		51
スマイルズ Samuel Smiles (1812-1904)	スマイルズ挿絵集	77
〔略伝〕 日本におけるスマイルズ像		
〔作品〕 自助論／西洋品行論／節儉論／職分論／人生と労働／その他		81
ダンセイニ Edward Dunsany (1878-1957)	ダンセイニ挿絵集	84
〔略伝〕 日本におけるダンセイニ像		
〔作品〕 戯曲／アルギメネス王／おき忘れた帽子／神々の笑い／金文字の宣告／光の門／山の神々／女王の敵／アラビヤ人の天幕／旅宿の一夜／妥協／名譽と詩人／もしも／(小説) ベガーナの神々／時と神々／ウエランの剣／夢見る人の物語／驚異の書／五十一話集／驚異の物語／三半球物語／影の谷年代記／エルフランドの王女／魔法使いの弟子／牧神の祝福／魔法の国の旅人／ジョーキンス・シリウス／不死鳥を		

世界文学総合目録

川戸道昭・榎原貴教 編

全10巻 + 作品名索引・1巻

各巻分売可

第1巻	イギリス編①(あ~し)	490 頁	978-4-283-00628-7
第2巻	イギリス編②(す~は)	410 頁	978-4-283-00629-4
第3巻	イギリス編③(ひ~わ・補遺)	310 頁	978-4-283-00631-7
第4巻	アメリカ編	580 頁	978-4-283-00632-4
第5巻	フランス編①(あ~ふ)	440 頁	978-4-283-00634-8
第6巻	フランス編②(へ~わ)	390 頁	978-4-283-00635-5
第7巻	ドイツ編	350 頁	978-4-283-00637-9
第8巻	ロシア編	650 頁	978-4-283-00638-6
第9巻	北欧・南欧諸国編	550 頁	978-4-283-00640-9
第10巻	東欧諸国・中国・インド アラビアン・ナイト編	470 頁	978-4-283-00641-6
	世界文学総合目録 作品名索引	480 頁	978-4-283-00643-0

各巻定価 26,400 円(本体 24,000 円+税)

全 11 巻 揃定価 290,400 円
(本体 264,000 円+税)

〈刊行経過・配本〉

- 第1回(2010年12月)
第1・2巻 978-4-283-00627-0
- 第2回(2011年6月)
第3・4巻 978-4-283-00630-0
- 第3回(2011年12月)
第5・6巻 978-4-283-00633-1
- 第4回(2012年6月)
第7・8巻 978-4-283-00636-2
- 第5回(2012年12月)
第9・10巻 978-4-283-00639-3
- 第6回(2013年4月)
世界文学総合目録 作品名索引 978-4-283-00643-0



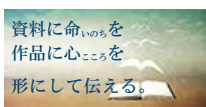
〈共同出版〉 大空社 / ナダ出版センター

[体裁] B5判・上製・クロス装

学術資料出版

大空社出版

東京都北区中十条 4-3-2
(〒114-0032)
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigy@ozorasha.co.jp



www.ozorasha.co.jp